

トピック(テーマ)		上小思想対策委員会	
ねらい		「二・四事件」直後に、上田市長が主導して「赤化排撃」を目的に「共産党戦術の暴露」「各種団体左傾分子排撃」「必要なる教化指導」を実行するために結成された「全国でも初めての組織」(『北信毎日新聞』)「県下最初の試み」(『信濃毎日新聞』)と報じられた組織である。いっぽう『社会運動通信』は「長野のナチス」と報じられた組織でもある。各市町村には支会の設置を目指した。事務所を上田市役所に置き、上小市町村長、上田市学務委員と各町村学務委員、相談役に警察署長、各配属将校、在郷軍人会連合軍分会長で構成された。司法・文部各大臣や陸軍大臣、県会、知事らには「赤化共産化の厳罰」の建議を、信濃教育会には「多数の赤化教員を出し」たことへの「反省」の建議を、さらに「滝川事件」では滝川教授の排撃を、五・一五事件では被告らの減刑嘆願の建議をした。	
キーワード		二・四事件 成沢伍一郎 滝川事件 五・一五事件 経済更生運動 国家主義	
資料リスト	1	書名	長野県近代民衆史の諸問題
		著者名	上條宏之／監修 長野県近代詩研究会／編
		出版社	龍鳳書房
		出版年	2008
		内容紹介	この組織について体系的に論じた論文は、上條宏之監修長野県近代史研究会編『長野県近代民衆史の諸問題』編著にある小平千文「二・四事件直後における上小思想対策委員会設立の意義」である。
	2	書名	治安維持法と長野県
		著者名	治安維持法同盟長野県本部
		出版社	治安維持法同盟長野県本部
		出版年	1988
	3	書名	長野県史 通史編 第九巻 近代三
		著者名	長野県史刊行会
	4	書名	長野県教育史 第十四巻 史料編八
		著者名	長野県教育史刊行会
		出版社	長野県教育史刊行会
		出版年	1979
	インターネット	1	サイト名
URL			<a href="https://dl.ndl.go.jp/">https://dl.ndl.go.jp/</a>
概要			雑誌「信濃教育」(559),信濃教育会、1933.5 図書館送信参加館内公開資料
新聞	1		『信濃毎日新聞』 昭和8.3.15、6.6
			『北信毎日新聞』 昭和8.3.15、5.26
			『上田毎日新聞』 昭和8.3.20

	2	見出し	論文集 戦時下の思想・教育統制など
		発行機関	信濃毎日新聞 朝刊12ページ
		年月日	2009.1.15
	3	見出し	反戦は偏向なのか 思想監視
		発行機関	信濃毎日新聞 朝刊1ページ
		年月日	2016.8.5
	4	見出し	維新の残響(17) 社会運動弾圧の総決算
		発行機関	信濃毎日新聞 朝刊11ページ
		年月日	2017.8.1
コメント	上小思想対策委員会だけを取り上げて論じている単著はない。資料リストに取り上げた文献中で取り上げている。『信濃毎日新聞』や地元紙の『北信毎日新聞』と『上田毎日新聞』が報じている記事も参考になる。		